

みずほCustomer Desk Report 2018/07/10号(As of 2018/07/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.50
TKY 9:00AM	110.44	1.1752	129.77	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.90	1.1790	130.25	1.3294	0.7437
SYD-NY Low	110.30	1.1733	129.55	1.3363	0.7484
NY 5:00 PM	110.85	1.1751	130.22	1.3189	0.7428
				1.3257	0.7466
NY DOW	24,776.59	320.11	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,756.20	67.81	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,784.17	24.35	米国2年債	2.5591	2.05bp
日経平均	22,052.18	264.04	米国5年債	2.7510	3.40bp
TOPIX	1,711.79	20.25	米国10年債	2.8574	3.47bp
シカゴ日経先物	22,215.00	385.00	独10年債	0.2995	0.70bp
ロンドンFT	7,687.99	70.29	英10年債	1.2555	▲1.10bp
DAX	12,543.89	47.72	豪10年債	2.6015	▲1.10bp
ハンセン指数	28,688.50	372.88	USDJPY 1M Vol	6.20	▲0.15%
上海総合	2,815.11	67.88	USDJPY 3M Vol	6.82	▲0.14%
NY金	1,259.60	3.80	USDJPY 6M Vol	7.30	▲0.11%
WTI	73.85	0.05	USDJPY 1M 25RR	-0.73	Yen Call Over
ORB指数	198.23	0.18	EURJPY 3M Vol	8.00	▲0.12%
ドルインデックス	94.08	0.04	EURJPY 6M Vol	8.40	▲0.15%

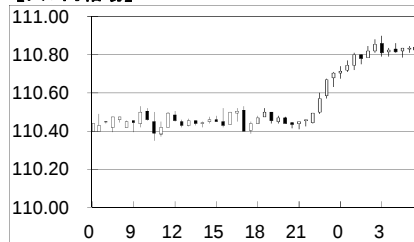
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月9日	08:50	日 経常収支	5月 ¥1,938.3b	¥1,266.0b
	09:30	日 黒田日銀総裁「物価2%目標の実現を目指し、必要な時点まで現行緩和を継続」		

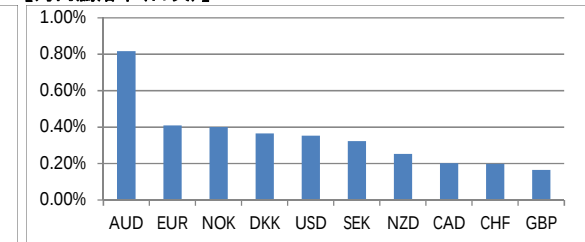
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月10日	10:30	中 CPI(前年比)	6月 1.9%	1.8%
	10:30	中 PPI(前年比)	6月 4.5%	4.1%
	18:00	独 ZEW景況感(現状/期待)	7月 78.1/-18.9	80.6/-16.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.20	1.1700-1.1800	129.50-130.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、ジョンソン英外相が辞任したことなどを背景に、政治的な不透明感が高まったことから、ポンドは下落。また、ユーロも連れ安となる中、リスク資産が底堅く推移したことなども背景に、ドル円は底堅く推移。本日も米主要経済指標の発表もないことから、ドル円は引き続きレンジ内で推移することを予想。

東京	朝方に110.30を一時示現するも、東京時間のドル円は110.44でオープン。日経平均株価が堅調な推移を見せたものの一段の上昇には繋がらず110円台半ば付近で動きに乏しい推移が継続した。株価の伸び悩みとともに一時110.35まで下落する場面も見られたが、一巡後は再び110円台半ば付近に戻して狭いレンジ内での取引に終始した。110.43で海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.43でオープン。方向感なく、狭いレンジ内の中での動きにとどまり、110.46でNYに渡った。ユーロは1.1771でオープン。1.1751に低下した後、ポトリーECB理事のマイケル・グレンを永久に続けることはないとの発言を受け買われ、1.1783でNYに渡った。ポンドは1.3322でオープン。週末のデービス英EU離脱担当の辞任により、マイ政権の求心力が問われる状況となったが、足元ではメイ首相に対する不信任投票は検討されていないことから、穏健な離脱の計画が前進すると思惑からポンドは買われ、1.3348でNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は110.46でNYオープン。朝方は、デービス英EU離脱担当の辞任に続き、メイ英首相が、ジョンソン外相辞任を受理したことからポンド売りドル買いが先行し、全般的なドル買いの流れとなる中、ドル円はじりじりと上昇。午後、米企業決算発表に対する期待もあり、一時110.90まで上昇する。終盤に掛けては新規材料に乏しく、閑散な推移が続き、110.85でクローズした。一方、ユーロは1.1783でNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1790まで上昇するが、ドラギECB総裁が利上げに対して慎重な姿勢を示したことや、前述のジョンソン外相辞任のニュースを受けドルが上昇する動きに1.1746まで下落する。その後一旦1.1762まで戻す局面もあったものの、再びドル買いが優勢となり、1.1733まで反落する。終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、1.1751でクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:百瀬・森谷